

国際関係学部国際関係学科のディプロマ・ポリシー

国際関係学部国際関係学科は、環日本海に位置する本学の地理的条件を活かして、多文化共生や地球規模の諸課題に対する深い洞察力を育成し、もって世界に開かれた地域社会の実現と国際社会の平和的発展に寄与することを理念とします。この理念の下、多様な世界観が併存する北東アジアをはじめとする国際社会に平和と安定をもたらすために尽力する人材の育成を教育目標とします。

島根県立大学のディプロマ・ポリシーの下、国際関係学部国際関係学科では、この理念と教育目標に定める人材を育成するために、定められた年限在学して所定の単位を修得し、国際関係学部国際関係学科において定める専門分野に関する以下の能力を有すると認められた学生に学上(国際関係学)の学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 社会科学・人文学の諸科学における国際関係あるいは多文化コミュニケーションに関わる専門的知見を体系的に理解することができる。
- (2) グローバル化に伴い、複雑に展開する国内外の問題を、社会科学・人文学の学術的観点からの的確に理解することができる。

2. 思考・判断

- (1) 多文化共生や地球規模の諸課題の解決策を構想できる。
- (2) グローバル化した国内外の多文化社会における複雑化した問題について、政治経済・社会動向・歴史・文化に関わる知識を手がかりにして分析的に探求できる。

3. 態度・実践

異質な意見を持つ多彩な他者とも対話・協働し、異文化への共感力を養い、能動的に合意形成を試みる姿勢を身につけている。

4. 技能・技術

- (1) 多文化共生や地球規模の諸課題について、適切な学術的方法や専門的視角に基づいて調査、分析、研究を行い、その成果について、他者にわかりやすく論理的に説明することができる。
- (2) 英語や北東アジア言語(中国語・韓国語・ロシア語)をコミュニケーション・ツールにして情報発信する外国語活用能力を身につけている

国際関係コースのディプロマ・ポリシー

国際関係コースは、グローバルな視点から多文化共生のための知恵を編み出せる人材として、次の能力を有すると認められた学生に学士（国際関係学）の学位を授与します。

1. 知識・理解

- （１）社会科学の中でも、とくに政治学、国際関係学、北東アジアの地域研究の専門的知識を体系的に理解できる。
- （２）北東アジアをはじめとした国際社会におけるグローバル化の潮流と、グローバル化に伴う複雑な社会的事象や国内外の課題を、学際的観点からの確に把握することができる。

2. 思考・判断

- （１）多文化共生や地球規模の諸課題について、錯綜する利害関係者の価値基準や優先順位を整理して課題解決に導く方策を構想する力を身につけている。
- （２）北東アジアをはじめ、グローバル化した国際社会及び国内社会の複雑化した問題について、政治経済・社会動向・歴史・文化に関わる知識を手がかりにして分析的に探究できる。

3. 態度・実践

異質な意見を持つ多彩な他者とも対話・協働し、異文化に共感し、能動的に合意形成を試みる姿勢を身につけている。

4. 技能・技術

- （１）多文化共生や地球規模の諸課題について、適切な学術的方法や専門的視角に基づいて調査、分析、研究を行い、その成果について、他者にわかりやすく論理的に説明することができる。
- （２）英語や北東アジア言語（中国語・韓国語・ロシア語）を多文化共生・異文化理解のツールとして活用する能力を身につけている。